

現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少しずつ落ち着くと共に一日の流れが出来ていたが再び落ちつきのなさが出て来ている。 ・ 子ども主体に活動を進めていたが、それではトラブルが発生してしまう場面が多くなっている。 ・ 好きな遊びを見つけて遊ぶ姿が見られるが片付けを人任せにする事が多い。みんなの玩具と言う意識が持てる様に話をする。 ・ トレーを使用し自分の食べられる量の食事を準備しているがまだ自分の食べられる量を取る事が出来ず残す子の姿も見られる。 		<p>□身の周りを清潔に保ち、必要な習慣を身見付けようとする。□自分の思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりしながら、生活や遊びを進め、友だちとの関わりを深める。□梅雨時期の自然現象や身近な昆虫などに興味関心を持ち調べたりする。□自分なりの目的を持ち、遊びの中で試したり工夫したりする事を楽しむ。</p>	<p>・ 健康診断 ・ フェリス ・ 避難訓練 ・ 身体測定</p>	<p>梅雨に入り戸外で思いっきり遊べる時間が少なかったが、なるべく園庭などで遊べる時間を設ける様に心がけた。室内での好きな遊びも増え、特に自分で好きな素材や道具を使って作る遊びが人気で保育室には様々な作品が並んだ。金色の折り紙が以前は人気だったが、普段から使える環境にするとその人気も落ちついた。普段から好きに使える事で、一つの物に執着しなくなったと感じた。</p>
内容	環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り	
<p>養護(生・情) 教育(健・人・環・言・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> □手洗い・汗の始末・水分補給・休息の大切がわかり健康に過ごせる様になる。 □歯の大切さを知り、歯磨きの習慣が身に付く。 □集団で遊ぶ事を喜び、決まりを作ったりそれを守ったりしながら遊ぶ。 □自分の思いや考えを表したり、友だちの思いを受け入れたりしながら、遊びを進める。 □雨や雨上りの空の様子など梅雨期の自然現象に興味関心を持つ。 □身近な昆虫の成長や変化に興味関心を持ち、図鑑で調べたり観察しながら世話をする。 □時計の役割や時間の大切さを知る。 □考えた事や経験した事を、友だちや保育者に話、会話を楽しむ。 □友達と一緒に唄ったり、リズムに合わせて身体を動かしたりする。 □目的を持ち様々な素材や道具を使って、工夫して作る事を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> □汗の始末や休息などの大切さを話す機会を設け、お茶など十分な量用意しておく。 □歯科検診や歯磨き指導を受け歯磨きの大切さや正しい歯の磨き方を知る機会をもつ。 □みんなで作った決まりを共通理解できるような場を設ける。 □自分たちのやりたい遊びが出来る様に、遊びに必要な道具や用具をとり出しやすいように用意しておく。 □一人一人の思いや、相手の思いに気付くような場面や時間を設ける。 □天気予報を確認しながら、小雨の中を歩けるように傘やレインコートの準備をする。 □子どもが観察したり世話が出来る様にカブトムシやバッタなどを置き絵を描いたり出来る様にする。 □時間への関心が持てる様に様々な種類の時計を準備する。 □季節の歌を準備し唄う。(大きな古時計)(虹) □イメージした物が作れるように見本をつくっておいたり様々な道具や用具を十分な量用意しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> □清潔にする事の大切さに気付き、健康的な生活習慣が身に付くように、必要に応じて知らせていく。 □すすんで歯磨きが出来る様に、歯磨き指導を通して、歯を磨く事の大切さを知らせていく。 □保育士も遊びに加わりながら子どもたちが意見を出し合い遊びがすすめていけるように見守る。楽しく遊べるように決まりを作る援助を行う。 □トラブルになった時は一人一人の思いを受け止めながら、友だちの思いにも気付く様に仲立ちする。 □梅雨時期の自然に興味関心が持てる様に、天気調べなど科学的な調べが出来る様な働きかけを行う。また子ども達の不思議に思う気持ちや発見に共感する。 □昆虫や花の世話をする中で命の大切さやい気づき愛情を持って育てられるようにする。 □保育士も一緒に世話をしながら特徴などに関心が持てる様にする。 □生活の中で時間の大切さに気付く様にする。時計の針や長さ、数字に興味を持てるようにする。 □話に共感したり問いかけたりしながら楽しんで会話が出来る様にする。 □子どもの表現を積極的に取り入れ、一緒に唄ったり身体表現したりして、楽しむ時間を共有する。 □イメージが膨らむようにヒントを出したり、助言をしたりする。工夫して作っている所を認める。 □全部食べることが出来た喜びを感じながら少しずつ食べられる量などが増える様にする。 □水やりなどを通して自分たちが育てている食物に関心が持てる様にする。 □うどんの出来るまでを知り食への興味を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> □手洗いが不十分な子どもや食事後の口の周りが汚れていても気にしない子どもの姿がみられ、その都度声を掛ける。声を掛けられると鏡で確認したり洗いなおす。 □集団遊びを行う際、ルールを守ろうとする子どもと守ろうとしない子ども、ルールが理解できていない子どもが居る。小学校等でも行う様なゲームは、同じゲームや遊びを繰り返す事でルールを覚えて行ける様にする必要がある。 □遊びを進めるなかで意見の違いなどからトラブルになる事がある。お互いの思いを言える場を設ける事で自分の意見を言う姿が見られる。解決にもつながっている。 □梅雨について知らない子どもが多かった、梅雨のニュースを話題に出したりしていると次第に梅雨に関心を持つ子どもも出て来た。雨の中を傘をさして歩いたり、かたつむりを探しに出かけたりこの時期ならではの経験をお紺った。 □保育室で飼育している昆虫が気になり、カブトムシの幼虫を土から出したりする姿が見られる。成長の過程を知る為に図鑑を持ちより、次はどの様に変化していくのか調べる姿も見られる。 □数字の歌や時計の歌、それぞれの降園時の時間を通して、時計の興味関心が持てる様にした。次第に時計が読めたり数字に興味関心が持てる様になって来ている。また数字の付いたコインを保育室に置くとままごと遊びに使い出した。次はどの様な遊びにつかうようになるか気になる。 □歌を唄う事が好きなクラスで、お気に入りの歌も出来てきた。今後も様々な歌を唄いながら好きな歌を増やしていきたい。 □梅雨の時期と言う事もあり、室内で遊ぶ時間を多い。室内には様々な道具や素材を準備し、好きな物を作る事が出来る様にした。友達で相談したりしながら面白いアイデアも沢山出して楽しんでいる。 □自分で食べられる量を取るが、実際食べてみて多かったとのこずもいる。経験しながら量分かる様になって欲しい。 □じゃが芋掘りから食べるまで、工程をたのしんだ。うどん作りでは、うどんがどの様に作られているのか知ると共に自分たちで作ったうどんと市販のうどんの違いを実際食べて知った。自分で作ったうどんは美味しかった様でいつも以上に食べていた。 	
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> □自分の食べられる量を知る。 □じゃがいもやさつまいもの水やりを行い成長を楽しみにする。 □うどん作りを通してうどんの出来るまでの課程を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> □盛り付けのサンプルを用意する。 □水やりの道具を準備しておく。 □うどん作りの流れを表などにして掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> □全部食べることが出来た喜びを感じながら少しずつ食べられる量などが増える様にする。 □水やりなどを通して自分たちが育てている食物に関心が持てる様にする。 □うどんの出来るまでを知り食への興味を深める。 	<p>梅雨に入り戸外で思いっきり遊べる時間が少なかったが、なるべく園庭などで遊べる時間を設ける様に心がけた。室内での好きな遊びも増え、特に自分で好きな素材や道具を使って作る遊びが人気で保育室には様々な作品が並んだ。金色の折り紙が以前は人気だったが、普段から使える環境にするとその人気も落ちついた。普段から好きに使える事で、一つの物に執着しなくなったと感じた。</p>	